

# I LOVE 釉 YOU IN ECHIZEN

やきものの釉薬は優れた機能性や装飾性を備えており、器を丈夫にしたり、カラフルな色を与える重要な役割を担っています。

「でもそもそも釉薬って何!?!」という素朴な疑問に答えるべく、本展では釉薬の基礎知識や魅力について、館蔵品の越前焼とともに紹介します。

褐色の土肌が特徴的な越前焼。中世は自然釉が主流でしたが、次第にコスパ重視の鉄釉や、やきものを彩る色釉などが登場してきました。これらに加え、本展では福井県の原料を使用する釉薬を研究した窯業試験場時代の試作品、当館所蔵の現代陶芸作品も紹介します。

知れば知るほど面白い、釉薬の世界。「I LOVE 釉(YOU)!!」のラブコールをお楽しみください。



越前《三筋壺》(平安時代)



越前《壺》(室町時代)



越前《鉄釉壺》(江戸時代)



越前《鉛釉手焙り》(明治時代)



越前《灰釉刻文水甕》(江戸時代)



越前《火鉢》(明治時代)



越前《青釉甕》(明治時代)



福井県窯業試験場  
《花器》(昭和32年)



塚原芥山  
《志野魚文皿》(昭和時代)



木村盛和《鉱物釉窯変結晶双耳扁壺》  
(平成時代)



福井県窯業試験場《サラダボール》(昭和44年)

## 関連イベント

◆学芸員によるギャラリートーク

【日時】5月3日(水)、5月27日(土)、6月10日(土)各日11時～

【会場】福井県陶芸館1階・2階「資料館展示室」

※要本展観覧券 ※事前予約不要、先着15名



## 福井県陶芸館までのアクセス

### 【バス】

●JR武生駅より(所要時間30分)

福鉄バス(武生・越前海岸線)「かれい崎行」「陶芸村口」下車

路線バスに関するお問い合わせ 福井鉄道株式会社 嶺北営業所(☎0778-21-0712)

### 【高速道路】

●武生IC(京都・名古屋方面)より(所要時間約30分)

●鯖江IC(金沢方面)より(所要時間約30分)

●敦賀IC(名神・舞若道)より305号線利用(所要時間約50分)

※駐車場は越前陶芸村総合駐車場をご利用ください。

## ご予約・お問い合わせ

**福井県陶芸館**  
FUKUI PREFECTURAL MUSEUM OF CERAMICS

〒916-0273  
福井県丹生郡越前町小曾原120-61  
TEL:0778-32-3262